

洪水・土砂災害ハザードマップの作成・全戸配布

町田市

- ハザードマップを洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップの2種類作成していたのを、統合したハザードマップとして作成し、全戸配布を実施。
- 2021年5月に一部改正された災害対策基本法(避難勧告・避難指示の一本化)の反映。

取組状況がわかる写真や資料を添付

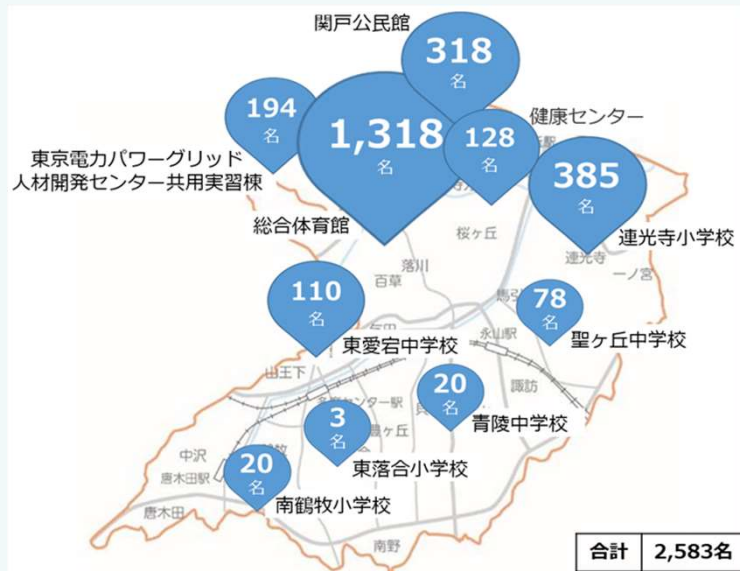
現在、作成作業中のため写真や資料等の添付不可。

水害時におけるニュータウン地区への避難の推進

- 令和元年台風第19号において一部の避難所が混雑したことや感染症対策による避難所の収容人数の減少に対応するため、避難者の少ないニュータウン地区への避難を推進
- 感染拡大により、住民避難訓練は中止したものの、避難所開設・運営訓練と住民の視察を実施

1 現状の課題

①令和元年台風第19号での一部の避難所の混雑



②新型コロナ対策による避難所の収容人数の減少



▶ 収容人員が大幅に減少

- ① 健常者と感染疑い者のゾーニング
- ② ソーシャルディスタンスの確保

2 ニュータウン地区への避難の推進



▶ 避難者の少ない避難所に地域ごと避難先を設定

3 ニュータウン地区の避難所開設・運営訓練の実施

- 【日時】 令和3年8月17日(火) 13時00分～17時00分
- 【場所】 東落合小学校・青陵中学校
- 【参加職員】 約50名
- 【住民参加】 浸水想定区域内の住民10名が視察
(ニュータウン地区への住民避難訓練を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い視察のみとした。)



令和3年度稲城市防災訓練の実施

稲城市

○令和3年度は、震度6強の震災を想定し、感染症対策用資器材を使用しながら避難所の受付訓練や設営・運営訓練を自主防災組織主体で行うなど、実践的で幅広い訓練を行った。

